

国立大学法人大分大学次期学長候補者の決定について

国立大学法人大分大学長の選考に関する規程（平成27年規程第31号）第9条の規定により、下記のとおり次期学長候補者を決定したので、同規程第10条の規定により公表します。

令和5年（2023年）6月26日

国立大学法人大分大学学長選考・監察会議

議長 杉原正晴

記

1 氏名 北野正剛

2 任期 令和5年（2023年）10月1日～令和9年（2027年）9月30日

3 選考の理由

学長選考・監察会議は、「国立大学法人大分大学長の選考に関する規程」及び「学長候補者の選考基準」に基づき、選考資料、候補者のプレゼンテーション及び面接の結果を総合的に判断し、次期学長候補者として北野正剛氏を決定した。

北野氏は、平成23年10月に学長に就任して以来、3期（12年）にわたり、大学運営の高度化を推進するためのガバナンス改革を実行、定着させながら、地域と時代のニーズを見据えた学部や研究科の改組を進めてきた。また、研究力強化に向けた組織や制度の構築、社会に貢献できる学生を育成するための教育体制の充実、大学の国際化の推進など、大学の機能強化を図ってきた。さらに、「地（知）の拠点」として、地域医療や社会貢献に寄与してきた。

学長選考・監察会議としては、北野氏が人格、学識に加え、「大分大学憲章」及び「国立大学法人大分大学の学長像」に照らして、大学の将来像を見据え、明確なビジョンと強いリーダーシップをもって不断の改革を実行し、教育研究のさらなる高度化を推進できるものと判断した。

大分大学を取り巻く状況は、急速な少子化の進行や志願者数の減少など極めて厳しいが、北野氏が学長として、強力なリーダーシップを発揮し、学内において一層のコミュニケーションを図りつつ、教職員が一体となって大分大学を発展させていくことを期待する。

4 選考の過程

(1) 令和5年（2023年）3月28日

学長選考・監察会議は、「学長候補者の選考基準及び選考日程について」を公示し、経営協議会、教育研究評議会及び学内構成員の有資格者に学長候補者の推薦を依頼した。

- (2) 令和5年(2023年)3月28日～令和5年(2023年)4月28日
学長候補者の推薦期間中に、経営協議会から北野正剛氏、教育研究評議会から北野正剛氏、学内構成員から北野正剛氏、以上1人の推薦があった。
- (3) 令和5年(2023年)5月8日
学長選考・監察会議は、推薦された北野正剛氏に対して、略歴調書及び所信表明書の提出を依頼した。
- (4) 令和5年(2023年)5月17日
学長選考候補者を公示した。
- (5) 令和5年(2023年)5月29日
令和5年度第1回学長選考・監察会議において、選考資料(学長候補者推薦書、略歴調書、所信表明書)の確認を行った。
- (6) 令和5年(2023年)6月19日
令和5年度第2回学長選考・監察会議において、学長選考候補者によるプレゼンテーション及び学長選考候補者への面接を実施した。
- (7) 令和5年(2023年)6月20日～令和5年(2023年)6月21日
学長選考候補者によるプレゼンテーションを学内に公開した。
- (8) 令和5年(2023年)6月26日
令和5年度第3回学長選考・監察会議において、審議の結果、北野正剛氏を次期学長候補者に決定した。

(参考) 学長選考・監察会議委員

経営協議会学外委員

- 石井久子(石井久子法律事務所弁護士)
井上敏郎(大分県病院局長)
岡正朗(公立大学法人山口県立大学理事長)
尾崎春樹(学校法人目白学園理事長)
桑野和泉(由布院玉の湯代表取締役社長)
杉原正晴(大分交通株式会社代表取締役会長)
姫野昌治(前株式会社大分銀行取締役会長)

教育研究評議会評議員

- 津村弘(総括理事)
栗栖由美子(教育学部教授)
宮町良広(経済学部教授)
猪股雅史(医学部長)
劉孝宏(理工学部教授)
片岡晶志(福祉健康科学部長)
三股浩光(医学部附属病院長)